



レタス出荷作業中のサポーターの皆さん



渡部 恵美 議員

マイナンバーカードの現状は

問 セキュリティ対策専門職員配置の考えは。

答 塩梅保健福祉部長

11月発生のコンビニ交付

サービスのシステム障害の原因は委託業者の過失によるもので、セキュリティの不備に起因するものではない。松前町と「証明書交付センター」間は行政専用回線で結ばれており、個人情報報漏えい防止対策がほどこ

されているため、セキュリティ対策専門職員を配置する考えはない。

問 高齢者への普及は。

答 昨年度は、確定申告

時に公民館や集会所に職員が出向いてマイナンバーカードの申請の受付を行った。また、町の総合健診時に行うことも計画している。

問 ひまわりバスが無料となる65歳以上の利用者にパスポートを発行しては。

答 ひまわりバス利用者の

年齢確認はマイナンバーカードに代わる身分証明書として、国民健康保険証・介護保険証・運転経歴証明書等を提示していただくことで支障は生じていないため、パスポート発行

の考えはない。

意見

今後、マイナンバーカードに健康保険証や運転免許証などが付与されると、バス利用時のカード提示の際に紛失するのではないかとこの声がある。現在、マイナンバー期間中でもあり、不安なくマイナンバーカードを持つことができるよう、積極的な安全対策の取組を望む。

「まさき農業サポーター人材バンク登録制度」とは

問 現状と課題は。

答 平村産業課長

農繁期の人手不足を解消するため平成30年度に創設した求人農業者とサポーターをマッチングする制度である。11月末現在、求人農業者10名、サポーター16名、マッチング実績は2件で、人手不足の解消には至っていない。

原因は、登録者数が十分でないため、求人農業者の

ニーズに対してサポーターが対応できなかったり、サポーターが活動できる時期に求人ニーズがなかったりするなどのミスマッチが発生しているためだと認識している。

今後は新規の求人情報をサポーターにいち早く通知

することでマッチングする

きっかけづくりを提供していきたい。

また、広報まさき8月号に登録制度と求人農業者の紹介記事が掲載されたことで、新規実績につながったので、様々な機会を捉えて、登録制度の周知と併せて、求人農業の魅力伝えていきたい。

求人情報をサポーターにいち早く通知

今後とも農業サポーター

人材バンク登録制度を活用し、農繁期の人手不足の解消に努めていきたい。また、非農業者がサポーターとして農業に従事することで農業経営に興味を覚え、農業の担い手や後継者の創出につながるよう期待している。

